

平成 30 年 1 月 30 日 (火曜日)

群馬建協の大雪対応に感謝の声

ぐんケン見張るくん

「仕事を休めない人のためにお願いします」「仕事とはいえ頭が下がります」。群馬県建設業協会（青柳剛会長）がツイッターで発信している大雪への対応に、多くの反響が寄せられている。除雪作業に対する感謝の声だけでなく、道路状況を把握する情報収集ツールとして頼りにしているケースもあるようだ。前橋市内の路面状況のツイートには1・8万回の閲覧があったという。

群馬建協は、災害情報共有 あるいは「仕事を休めないシステム」「ぐんケン見張るくん」を運用しており、災害な 育士さんのためによりくおどの発生場所や現地の写真を 願います。頑張ってください 会員企業が報告し、インターイ」とツイート。「いつも通 ネット上で共有している。関りの通勤時間で無事に職場に 東地方が大雪に見舞われた今 つけました」「本当に深夜作 週月火曜日は、23日の午後 業ありがとうございます！ 3時30分までに443件の報 すごい助かります！」とねぎ 告が集まった。同システムは らう声もあった。

入力情報をツイッターに投稿 あるユーザーは「群馬県内 する機能も装備。306件が のいろんな地域の路面状況、 群馬建協の公式ツイッター 除雪状況、被害状況などをツ カウントから発信された。 イートしてくれているのでと ころしたツイートに対し、 ても助かります」とコメント さまざまな声寄せられた。 を寄せて、ドライバーにとっ

市民の情報収集にも一助

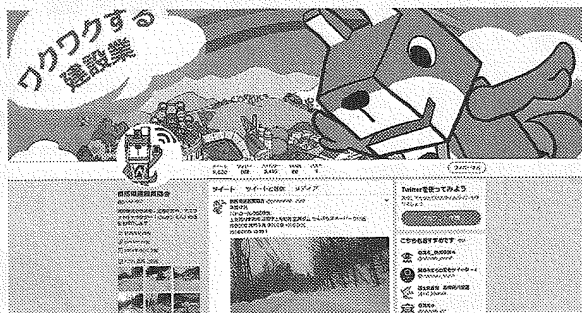
て有益な情報だと紹介している。別のユーザーも、「除雪作業ならびにツイッターへの投稿により、多くの方が助かっています。ありがとうございます」と投稿した。

除雪状況が写真とともに掲載されているため、道路交通状況を把握する上でも、貴重な情報源となっている。関東地方整備局利根川上流河川事務所は、群馬県内での除雪状況をj知る手段として、群馬建協のツイッターを紹介した。

最前線で作業する建設会社は最新情報を手しやすく、ピンポイントで最新状況を知りたいという市民ニーズにも合致している。青柳会長は、「投稿は大変だが、(災害情報共有システムへの報告やツイートが)習慣になってきた。雨や雪が降った時、『ニューラスを見る前にぐんケンくんを確認しよう』となってくれるとありがたい」と話す。

群馬県では大雪と並行し

て、23日に草津白根山が噴火。24日午後3時以降、火山性地震や火山性微動は観測していない(25日午前10時時点)が、現地では緊張感を持って監視が続けられている。青柳会長は「土のうの準備や道路啓開が必要になる可能性もある。災害対応は一つ弱いところがあると、全体が弱くなることがある。災害限界集落ができてしまうようになってはならない」と警鐘を鳴らす。



群馬建協の公式ツイッター画面